

令和2年2月

魚津市定例記者会見



日時：令和2年1月31日（金） 午後1時30分～午後2時5分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、
毎日新聞社、NHK、KNB、BBT、チューリップテレビ、
NICE TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、副市長、教育長・企画総務部長、民生部長、産業建設部長、
企画政策課長

1. 市長からの発表事項

- (1) 臨時災害放送局開設の協力に関する協定を、株式会社新川コミュニティ放送と締結
・2月7日（金）に市長公室で調印式を行う。
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）
- (2) 総務省主催のハッカソン「GEOSPATIAL Hackers Program」がつくるUOZUプロジェクトとコラボレーションして開催されます。
・G空間情報を活用した地域課題の解決を試みるハッカソン。
・今年度は、全国4か所（愛知県、富山県、東京都、沖縄県）で開催。富山県では、新川学びの森天神山交流館で2月8日（土）・9日（日）の2日間にかけて開催。
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）
- (3) 魚津地場産シリーズ第2弾「UOぶり（うおぶり）プレート（ぷれーと）」の提案
魚津産ぶりと野菜を使ったUOぶりプレートを作成します。
・子ども頃から魚に親しむために、魚を食卓に取り入れる提案として、家庭でも実践しやすいレシピで「UOぶりプレート」を作成。
・2月14日（金）に、このレシピ用いた市内保育園等調理員の研修会を健康センターで開催。
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）
- (4) 読書記録機の運用が始まります！
・2月23日（日）から、魚津市立図書館で読書記録機の運用をスタート。運用初日にはスタートセレモニーとおはなし会を行う
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

2. 教育委員会及び各部長からの説明事項

〈教育長〉

- ・第68回市民体育大会 第59回スキー競技会（雪不足により中止）
- ・K I N I N A L利用者の博物館入館料割引（2/1～3/31）
世界的なデザインコンテストで「K I N I N A L」が金賞受賞したことをお祝いして、K I N I N A Lの利用者の埋没林博物館の入館料割引を実施。
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

〈企画総務部長〉

- ・「魚津市まちづくりフォーラム2020」の開催（2/24）
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

〈民生部長〉

- ・友道東交差点地下道への防犯カメラ設置に係わる記念式典（2/10）

〈産業建設部長〉

- ・魚津かのにの陣の開催（2/2）
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）
- ・2020 ポリテックビジョン in 新川（2/14）
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）
- ・いい仕事発見！会社紹介フェア in Uozu（合同企業説明会）（2/21）
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）
- ・魚津総合公園無料休憩所のリノベーションワークショップ（2/29）
木のテーブルづくりや、海の幸・山の幸を楽しんだりするワークショップを開催
（説明内容は別添プレスリリースのとおり）

3. 質疑応答の内容

「コロナウィルスの影響」について

《記者からの質問》

コロナウィルスについてWHOの緊急事態宣言もあった。魚津市において、観光や経済面などでの影響について、今の時点で把握しているものがあれば教えてほしい。また、市独自の対策を行っていただければ聞かせてほしい。

《回答》（市長）

影響については、市内の企業には中国に工場がある企業もあるので、影響の有無を含めて情報を収集することは考えている。

この状況を受けての特別な対応は現時点では考えてはいないが、インフルエンザなどの流行期でもあることから、まずは学校や生活の面において、感染症の予防を徹底するように呼びかけようとは思っている。特別に中国との関係で何かをするという

ことはまだ考えていない。

《記者からの質問》

市の行っている事業のなかで、中国へ人を派遣するものが、学校関係などであるのか。

《回答》（市長）

特にはない。

《記者からの質問》

中国に工場のある企業は具体的にはどこがあるか。

《回答》（市長）

日本カーバイト工業(株)や(株)桑山、(株)スギノマシンなどがある。まだ、それらの会社の具体的な影響等については把握していない。

「臨時災害放送局開設」について

《記者からの質問》

臨時災害放送局開設について、放送設備は総合通信局から貸与とのことだが、タイムラグはどのくらいになるか。

《回答》（市長）

北陸総合通信局は金沢市にあるのでそれなりの時間はかかる。ただ、実際のところは、ラジオミューの機材で対応できるとのことである。状況によって、一刻を争うような場合はそのような活用がスタートする。その後、体制をしっかりとすることになれば、総合通信局から機材を借りるということになると思う。タイムラグが発生するということはあまり考えていない。

《回答》（企画総務部長）

新たな臨時災害放送局を立ち上げるときには、周波数をもらうなどのことで時間がかかるので設備等があると思うが、現在のコミュニティFM放送局が臨時災害放送局になることも可能である。通常のラジオミューの周波数であり分かりやすい面もある。既存の周波数を使って情報を流す場合は対応も早くなると思われるが、詳細については、今後つめていくことにしている。

「KININALのデザインロゴ」について

《記者からの質問》

KININALのデザインロゴを作成した「NOSIGER（ノザイナー）」は会社であるか。

《回答》（教育長）

「NOSIGER」は、横浜市にあるデザイン事務所である。そこがKININALのロゴのデザインを担当した。

「UOぶりプレート」について

《記者からの質問》

「UOぶりプレート」はいろんな提案があったなかでひとつを選んで「これがUOぶりプレートです」という提案をするのか、いろいろなものを提案していくのか。

《回答》（市長）

調理師からは30種類以上のレシピが提案された。そのなかからお子さんたちが魚料理として食べやすいものを何種類か選んで実際に作っていきこうという取組だと聞いている。ひとつを取り上げて、これが定番であるということではない

《回答》（民生部長）

今回は、市内の野菜生産者から野菜を提供していただけるので、食材を見ながら、当日作っていく部分もあるかと思う。30種類ほど提案されたレシピから、お子さんたちが食べやすいもの、家庭で作りやすいものを中心に選び、調理員が実際に試作し、これから発信していくことになると考えている。

《記者からの質問》

発信方法はどのようなものになるか。

《回答》（民生部長）

前回の「UOVEGI（うおべじ）パフェ」のときも園だよりや、ホームページなどに載せて発信した。今回もそのような発信を考えている。また、一部の園では給食のなかに取り入れて活用していきたいとも考えている。

「屋内型子供の遊び場整備（新川文化ホール敷地）の県への要望」について

《記者からの質問》

先日の県への要望について、新川文化ホールの利用促進の部分と、子供の遊び場整備の話があったと思うが、イメージとしては、滑川市の児童館のようなものなのか。県の施設なので、県東部にそのような施設がないということで要望があったのか。少し唐突感を受けたので質問した。

《回答》（市長）

まず、富山市では県武道館建設の話があり、高岡市でもテクノドーム増改築の話があるなかで、地域バランスとしても、新川地区で県の地域振興の取組を行ってほしいということがある。

太閤山ランドにある「こどもみらい館」は、新川地区からの利用は1割に満たない状況である。どうしても距離的な問題がある。子どもが減る中で、子育て支援をしっかり行う必要があるなかで、県にもその分野で主体的に力を出してもらえればという意味合いがあり、新川文化ホールの場所を活用してそういった施設を作っていただきたいということである。結果的に魚津市にはそういった施設はないので寄与するということになる。

《記者からの質問》

手法としてはどのようなものになるか。

《回答》（市長）

こどもみらい館と同じ大きさのものまで必要かということもある。ニーズを見極めて、県の方で考えていくと思う。

《記者からの質問》

新年度に設計等という方針などはあるのか。

《回答》（市長）

分からない。あくまで県立施設として要望しているのでイニシアチブは県にある。